

江戸川区地域エネルギービジョン第1回策定委員会 要旨

日時：平成19年7月17日（火）10時00分～12時00分

場所：江戸川区役所 第一委員会室

1. 区長挨拶

- 区長の挨拶。

2. 各委員自己紹介

- 各委員の自己紹介。
- 事務局、オブザーバ、コンサルタントの紹介。

3. 委員長、副委員長の選出

- 委員の互選により、委員長を決定。
- 委員長の指名により副委員長を決定。

4. 諮問

- 区長より諮問。

5. NEDOの概要

- オブザーバよりNEDOの概要について説明。

6. 策定の背景及び今後のスケジュール（案）

- 事務局より、策定の背景及び今後のスケジュール（案）について説明。

【委員の質問及び意見と事務局の回答】

- 「特別区における温室効果ガス算定のための標準的な算定手法」について、簡潔に説明いただきたい。
(事務局) 23区共通の標準算定手法として取りまとめたものである。
- スケジュールの中で予定されている「先進地視察」についての詳細を説明願いたい。
(事務局) バスで一日で往復できる場所を予定しているが、詳細については早急に設定し、第二回策定委員会の前に連絡できるようにしたい。
- 現在の江戸川区の温室効果ガスなどの数値的な位置づけはどの程度か。分かる範囲で教えてい

ただきたい。

(事務局) ちょうど 23 区の真ん中くらいだと思われる。

- 次回には、1990 年度比でどの程度増減しているかなどを算定した資料を提示していただきたい。
(事務局) もともと提示予定であるため、問題なく用意できると思われる。

7. もったいない運動の現況説明

- エコセンターより、もったいない運動を資料に基づき説明。

8. 質疑・意見交換

(もったいない運動について)

- 省エネや省資源はいいが、それでお金や手間がかかるのであれば意味がない。経済性も考慮した「省マネー」というようなキーワードもこの冊子に加えていただきたい。
- 経済性については、もっと広く表現できればいいかと思う。家計も企業も商店街も長いタームで考えると得になるということを訴えていった方がいい。
- 学校では環境教育と消費者教育はセットになっているので、このような提案は環境教育にも繋がりがやすいのでありがたい。
- マスコミなどの扱い方で物を長く使用することを重視しているように思われがちだが、冊子に記載されているように、多少お金がかかってもエコタイプの最新家電を使用したほうが環境に良い場合もある。地球全体で環境を考えている本冊子は非常に良い物と感銘を受けた。

(レジ袋削減、エコバック使用について)

- 江戸川区では、エコバックは 5 円を節約するためのケチに見られているような気がする。環境配慮というイメージを皆がもっと持てれば、レジ袋の削減もより進むような気がする。
- 環境配慮のためにエコバックを使用するといった空気を皆で作ってあげればよいと思う。
- 商店街はゴミの発生源の一つである。レジ袋削減を目指して、長年エコバックの勉強をしてきたが全くヒットしない。普段から持ってもらえるようなエコバックを作ればよいと思う。
- エコバックの話が出ているが、委員の我々が率先して実施すべきである。その一人ひとりの心の持ち方が重要だと思う。

(太陽光発電について)

- 個人的に太陽光発電を使っている。電気として売る分にはたかが知れているが、環境の役に立っているならいいと思う。

(廃食油の利用について)

- まとめて廃食油を回収できる箇所を商店街に設置できればと思う。取り組むべき課題は多いが、次世代のために頑張りたい。

(区の取り組みの PR について)

- 今区が行っているような取り組みを広報などで PR する予定はあるか。
- 6 つの地域工業団体連合会に全部で 500 社くらい登録されているが、早めに区が方針を決定してくれると組織を通じて周知し、取り組みやすくなるので助かる。
- 区民に分かりやすく伝えるためにドラマ仕立ての映像があればいい。

(エコドライブの取り組み)

- 我々運送事業者はトラックを使用しなければ商売にならない。ただ現在の車両は燃費効率が良く、事業者としてもエコドライブを推進するためのコンテストを開催するなどして、空気を出るだけ汚さない取り組みを行っている。

(地域における環境活動の取り組み)

- 私達は環境をよくする運動の一環で、もったいない運動を各協議会で大々的に広げていきたい。また、雨水利用や近場の移動には車使用を避けてもらうような運動などを展開していきたい。
- 足元から地球温暖化を考えるという活動をしているが、なかなか地域に展開できていないのが現状である。2003 年度から省エネ冷蔵庫を普及するための融資や支援などを行っており、今年度の環境省のモデル事業にもなっているので、皆さんにも協力していただきたい。

(行政としての立場からの意見)

- 私は行政という立場から、区民と一体となって運動していきたいと思う。江戸川区の地域力を本計画の特徴にしたい。
- 都としては区と協力して事業者在省エネの研修会や省エネ診断などを行っている。また、白熱球一掃作戦を行っているので皆さんにも協力していただければと思う。我々の持っているツールと皆さんの力を併せながら省エネビジョンの施策や方向性を見出していきたい。

(環境教育について)

- 学校にもアンケート等を配布して欲しい。

- エコセンターで環境学習を担当しているが、環境学習指導者を増やすための講習会などを推進し、江戸川区 64 万人に環境啓発を促したい。

(企業の環境活動への取り組み)

- 本業ではないが、もったいない運動の一環で打ち水活動を昨年実施し、非常に楽しく肌で涼しさを感じながら体験することができた。このように小さなところから本業以外にも参加できればと思う。
- 環境フェアを今年 5 月に実施し、500 人くらいの方にエコアンケートをとったが、皆さん意識が高いように感じた。このような形で色々お手伝いしていきたい。

(今後の委員会における提案)

- 裏付けのとれた目標数値を設定することが重要であると思う。
- もし、次の 100 年で最大 6.4℃気温上昇したら、氷河期から現在までの温度上昇と同じであり非常に危険である。今回色々な立場の方が集まっているが、このような問題は各々だけでできることではないので、企業や行政、区民それぞれの努力で協力し合うことが大切である。
- 江戸川区の別の委員会において、23 区が焼却処理することに決めたプラスチックを燃やさないで分別することに決め、既に動き出している。今では 12、3 区が江戸川区に倣って分別をしようとしている。このように情熱を持ち、本気で取り組みたいと思っている。

[了]